

北陸管内初！携帯端末向けマルチメディア放送局へ免許状交付！



齊藤一雅局長(左)から株式会社ジャパン・モバイルキャストの金井博美取締役(右)へ免許状を交付



モバキャストサービスを説明するJモバの小笠原企画部長(左)
NOTTVのコンテンツを説明するmmbiの外岡シニアマネージャー(右)



携帯端末向けマルチメディア放送(V-Highマルチメディア放送)は、アナログテレビ放送のVHF帯10ch～12chで使用していた周波数(そのうち14.5MHz幅)を使用して放送されるサービスです。

限られた周波数の中で、多様な放送事業者の参入を図るため、ハード・ソフト分離の制度となっており、ハード事業者として株式会社ジャパン・モバイルキャスト(以下、Jモバ)、また番組・コンテンツを提供するソフト事業者として株式会社mmbiが総務省の認定を受け、『NOTTV』の名称で本年4月1日から東名阪エリアを中心としてサービスが開始されています。

平成24年12月18日(火)、北陸管内初となる携帯端末向けマルチメディア放送局を開設するJモバに対し、齊藤一雅北陸総合通信局長から同社の金井博美取締役へ免許状の交付を行いました。

交付後、齊藤局長から、「スマホやタブレットといった携帯端末が急速に普及する中、マルチメディア放送という携帯端末向けの新しい放送が北陸地域の中では石川県が先行する形になるが、この北陸でもいよいよサービスが開始されるということで大変うれしく思っている。特に地デジへの完全移行によって生まれた周波数を利用する新しい放送サービスという意味においても、是非視聴者のニーズと期待に応えられるようがんばっていただきたい。」とあいさつしました。

金井取締役からは「私どもとしても放送エリアを早期に広げ、視聴者に満足していただけるよう精進していく所存です。」と述べられました。

免許状交付式後、当局の会議室において、Jモバとmmbiの主催により、12月21日開局となるこの放送サービスの説明会が開催されました。

<Jモバ、mmbiから説明のあった新しい放送サービスの概要は次のとおり>

- 金沢局は全国で26番目の開局。(富山局は平成25年1月開局予定)
- 放送電波を使っているため、インターネットのストリーミング放送のような通信の混雑は無い。
- リアルタイム型放送とシフトタイム視聴(蓄積型放送)を提供。合計で13セグを使用するため、ワンセグに比べて高画質・高音質が特徴。シフトタイム視聴ではHD品質をサポート。
- 12月末現在、NTTドコモから発売されているタブレット4機種を含む合計17機種で視聴可能。
- mmbiが提供する放送局名は「NOTTV」。現在加入者は30万人を突破。視聴料は月額420円。
- リアルタイム視聴では、携帯端末を使用していることから、ソーシャルメディアと連携した、従来とは違った放送サービスを提供している。欧州サッカーをはじめドラマ、音楽、デジタルコンテンツなど幅広いジャンルを網羅する総合編成のチャンネルが2つと24時間ニュースチャンネルの計3チャンネルが楽しめる。また、災害発生時には災害放送に切り替えて安心・安全を提供。
- 映画やコンサートライブ映像といったプレミアム番組も視聴可能。(別途視聴料が必要)